

介護予防の推進に向けた運動器 疾患対策に関する検討会	
-------------------------------	--

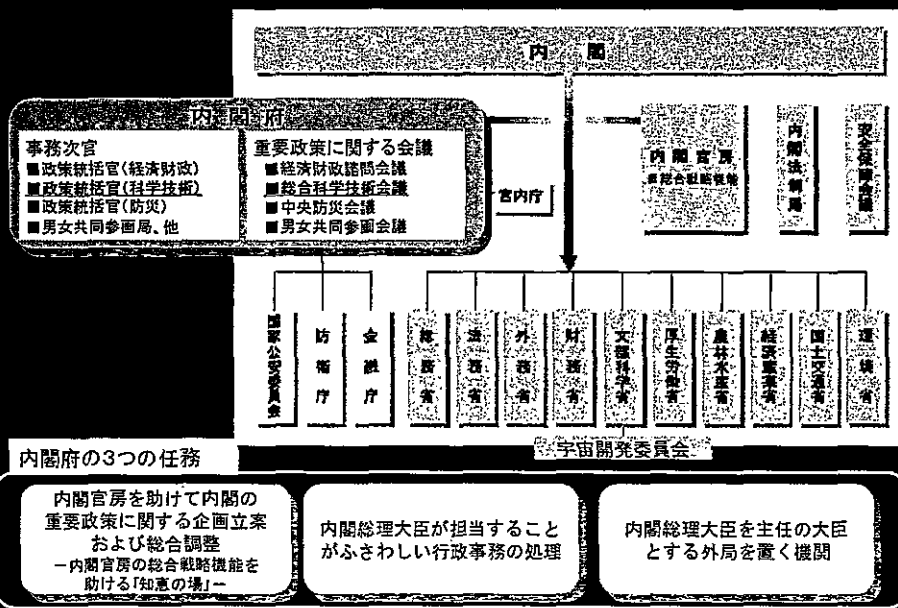
平成19年7月13日

資料3

資料3：内閣府総合科学技術会議について

内閣府総合科学技術会議について

総合科学技術会議の位置づけ



我が国の科学技術政策の基本

総合科学技術会議(本会議) (原則毎月1回開催)

科学技術政策担当大臣と総合科学技術会議有識者議員との会合(原則毎週1回開催)

- ① 科学技術に関する基本的な政策の調査審議(例:第3期科学技術基本計画の策定)
- ② 予算・人材等の資源配分等の調査審議(例:毎年度の科学技術関係予算の優先順位付け)
- ③ 国家的に重要な研究開発の評価

総合科学技術会議議員名簿

	氏名	役職等
閣僚	安倍 晋三	内閣総理大臣
	塩崎 恭久	内閣府副長官
	高市 早苗	科学技術政策担当大臣
	菅 義偉	総務大臣
	尾身 幸次	財務大臣
	伊吹 文明	文部科学大臣
	甘利 明	経済産業大臣
有識者	相澤 益男	東京工業大学学長
	斎藤孝康	常勤(慶応義塾大学客員教授)
	奥村 直樹	常勤(元新日本製鐵(株)代表取締役 副社長技術開発本部長)
	本庶 佑	常勤(京都大学客員教授)
	鶴 通子	お茶の水女子大学学長
	庄山 悦康	附立製作所取締役執行役会長
	原山 優子	東北大学教授
	関係機関の長	金澤 一郎

科学技術行政の動き

- 1995年(平成7年) 科学技術基本法の制定
- 1996～2000年 第1期科学技術基本計画
- 2001年(平成13年)中央省庁再編
→内閣府とともに「総合科学技術会議」発足
- 2001年～2005年 第2期科学技術基本計画
- 2006年～2010年 第3期科学技術基本計画

総合科学技術会議の役割

■ 科学技術に関する基本的な政策の策定

重点推進4分野の設定:ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテクノロジー・材料

推進4分野:エネルギー、ものづくり技術、社会基盤、フロンティア

各分野における推進戦略、基本政策の策定

■ 予算・人材等の資源配分方針等の調査審議

科学技術関係概算要求の優先順位(SABC)付け

独立行政法人等の主要な業務についての見解とりまとめ

■ 国家的に重要な研究開発の評価

第3期科学技術基本計画（平成18年度から平成22年度）の基本理念

【基本姿勢】

- ① 社会・国民に支持され、成果を還元する科学技術
- ② 人材育成と競争的環境の重視
～モノから人へ、機関における個人の重視

【政策目標の明確化】

6つの大目標、12の中目標に向けて科学技術政策を推進し、
成果実現と説明責任を強化

<理念1> 人類の英知を生む	<理念2> 国力の源泉を創る	<理念3> 健康と安全を守る
<大目標1> 飛躍知の発見・発明 ～未来を切り拓く多様な知識の蓄積・創造 (1) 新しい原理・現象の発見・説明 (2) 非連続な技術革新の源泉となる知識の創造	<大目標3> 環境と経済の両立 ～環境と経済を両立し持続可能な発展を実現 (4) 地球温暖化・エネルギー問題の克服 (5) 環境と調和する循環型社会の実現	<大目標5> 生涯はつらつ生活 ～子供から高齢者まで健康な日本を実現 (9) 国民を病ます病の克服 (10) 誰もが元気に暮らせる社会の実現
<大目標2> 科学技術の限界突破 ～人類の夢への挑戦と実現 (3) 世界最高水準のプロジェクトによる科学技術の牽引	<大目標4> イノベーター日本 ～革新を続ける強靱な経済・産業を実現 (6) 世界を驚かすユビキタスネット社会の実現 (7) ものづくりナンバーワン国家の実現 (8) 科学技術により世界を驚かす強靱な産業競争力の強化	<大目標6> 安全が誇りとなる国 ～世界一安全な国・日本を実現 (11) 国土と社会の安全保障 (12) 暮らしの安全確保

科学技術の戦略的重点化

基礎研究

自由な発想に基づく基礎研究については、多様性を確保しつつ、
一定の資源を確保して着実に推進

政策課題対応型 研究開発

選択と集中の
一層の徹底

重点推進4分野

(ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテクノロジー・材料)
及び 推進4分野
(エネルギー、ものづくり技術、社会基盤、フロンティア)

② 分野内の重点投資

分野別 推進戦略

- 状況認識
- 目標設定 研究開発目標・成果目標を政府の責任部署とともに明記
- 重要な研究開発課題 今後5年間に政府が取り組む重要な課題
- 戦略重点科学技術 特に今後5年間に集中投資すべき科学技術
- 研究開発の推進方策 取組を円滑に進め「活きた戦略」を実現する方策

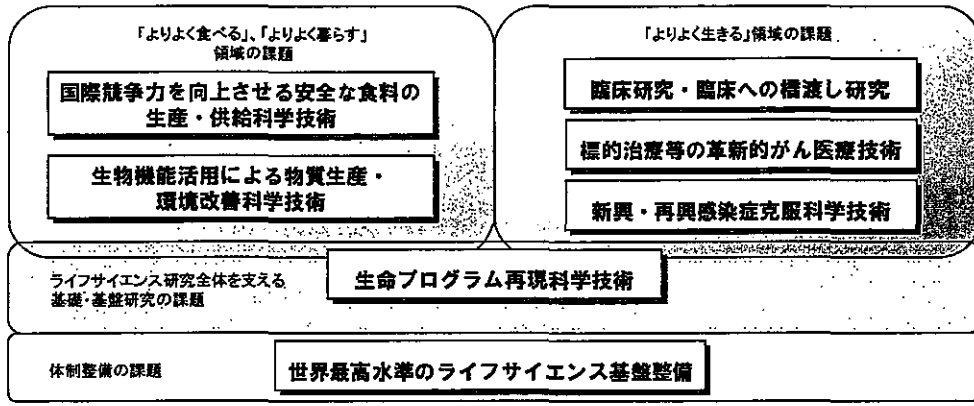
ライフサイエンス分野における戦略重点科学技術について

基本姿勢

- 生命現象の統合的全体像の理解（生命の神秘に迫る）
- 研究成果の実用化のための橋渡し（国民への成果還元を抜本的に強化）

選択と集中

戦略重点科学技術



臨床研究・臨床への橋渡し研究

<研究動向>

- 日本の創薬、医療技術の基礎研究は欧米と同格。
- 日米EU三極の間で整合化した臨床試験ガイドラインの合意。
- 日本の治験の空洞化、創薬の長期化・高コスト化。

<社会・国民ニーズ>

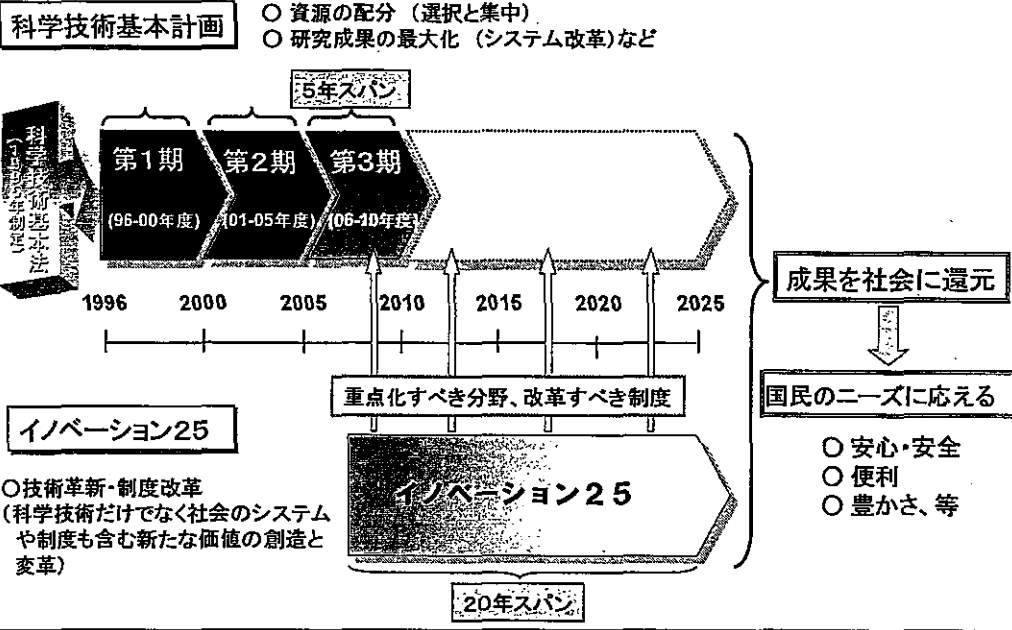
- 生活習慣病等長期罹患者、アルツハイマー病等の増加。
- 研究成果の早期国民還元

<戦略重点科学技術及び推進方策>

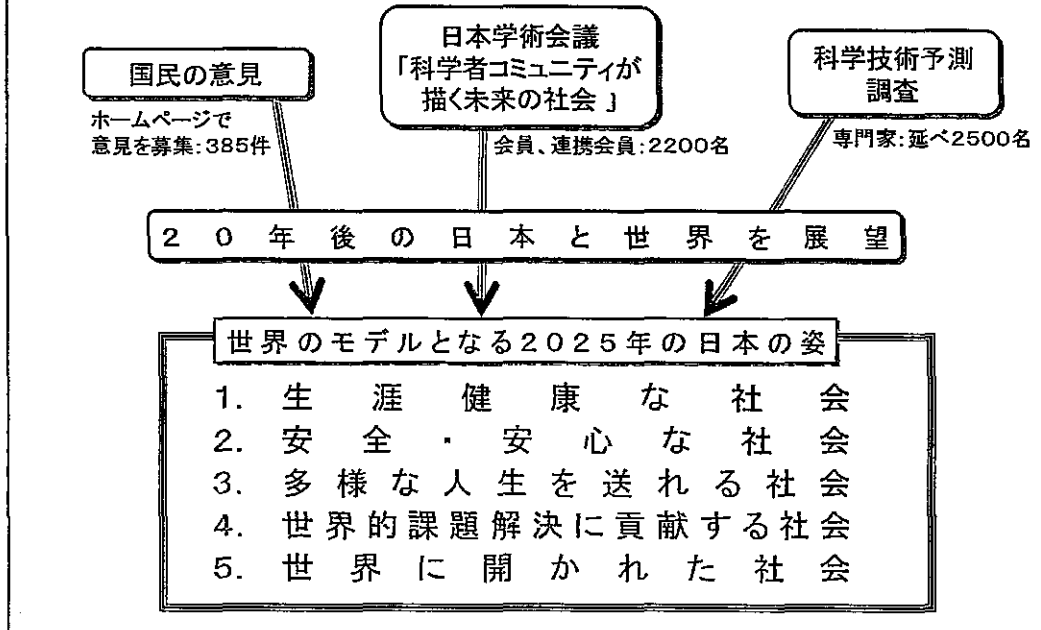
- 臨床研究・臨床への橋渡し研究
生活習慣病、免疫・アレルギー疾患、精神疾患等に対応した、疾患診断法、創薬や再生医療、個人の特性に応じた医療等の新規医療技術の研究開発などについて、臨床研究・臨床への橋渡し研究を強化
- 支援体制の整備・増強
非臨床試験専門施設等の拡充。
臨床医と基礎医学研究者等の共同体制増強等
- 人材育成
臨床研究者・臨床研究支援人材の確保・育成・キャリアパス設定。等
- 研究推進や承認審査のための環境整備
高品質データ取得と管理の支援。
承認申請にかかる審査体制の充実。等
- 国民の参画
被験者の参加促進等の枠組みづくり等。

基礎研究成果、新規医療技術などを効率的に国民へ還元

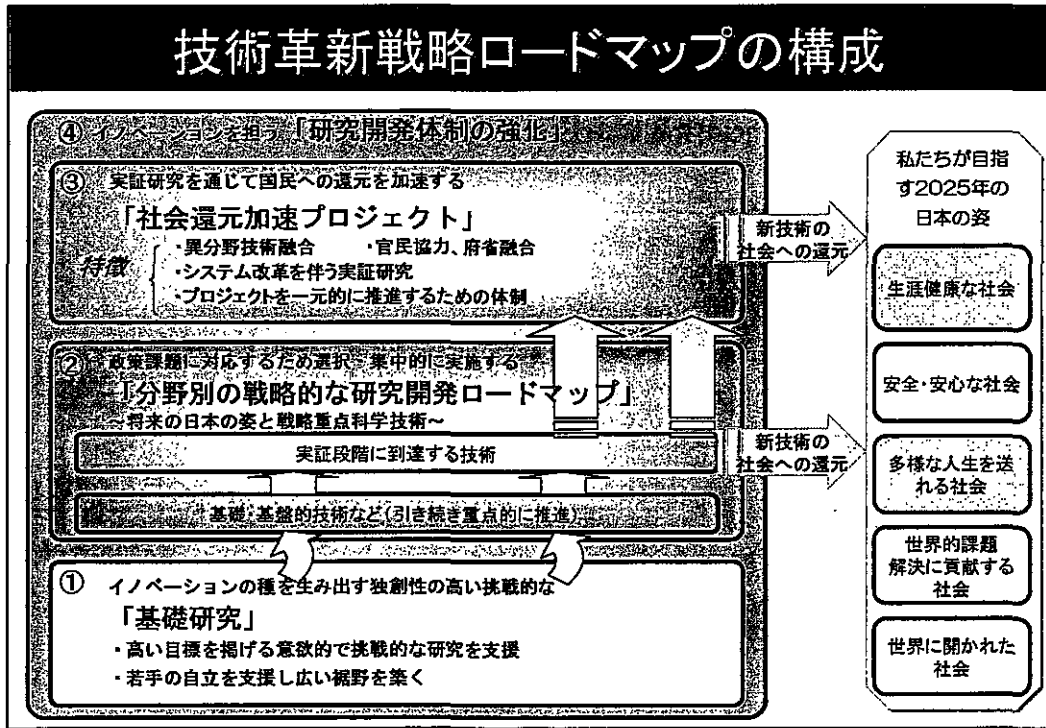
科学技術基本計画とイノベーション25の関係



イノベーションで拓く2025年の社会



技術革新戦略ロードマップの構成



社会還元加速プロジェクトについて

社会還元加速プロジェクトについて

問題点

要素技術としては確立されつつあるが、それらの技術を国民が享受できていない。

異分野技術融合、官民協力・府省融合、システム改革、技術の社会システムとしての実証研究(5年以内に開始)を通して成果の社会還元を加速

社会還元加速プロジェクトの例

1. 生涯健康な社会

・人体機能を補助・再生する医療

2. 安全・安心な社会

・災害情報通信システム

・安全で効率的な道路交通システム(ITS)

3. 多様な人生を送れる社会

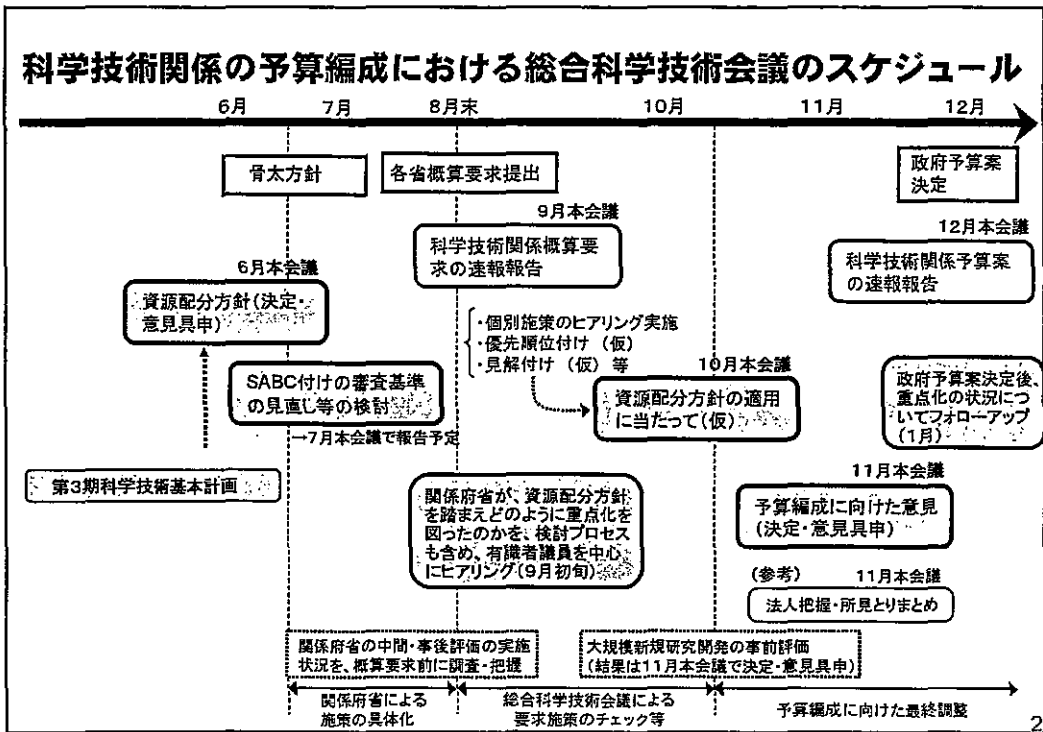
・先進的な在宅医療・介護

4. 世界的課題解決に貢献する社会

・食料・飼料と競合しないバイオマス資源の総合利活用

5. 世界に開かれた社会

・音声コミュニケーション技術



平成20年度の科学技術に関する 予算等の資源配分の方針について

—科学技術によるイノベーション創出の推進に向けて—

平成19年6月14日

総合科学技術会議

Ⅰ. 基本姿勢

科学技術：多様なイノベーションの種を生み、成長力強化に直結する『未来への投資』

○ 第3期科学技術基本計画に掲げられた取組の加速

- ✓ 「投資の総額の規模 約25兆円」の期待に向け、科学技術関係予算を充実し、科学技術への投資を強化

○ 20年度に重点的に実行すべき重要課題を厳選して明示

- ✓ 「イノベーション25」に基づき、早急に具体化すべき施策
- ✓ 第3期基本計画の着実な実行に向けて必要な取組

○ 制度改革への取組、無駄の排除の徹底

- ✓ 優れた研究の継続的支援、公正・透明で効率的な研究費使用のための運用改善
- ✓ 各府省の縦割りによる弊害排除や連携強化、研究費の不正使用防止の徹底

Ⅱ. 平成20年度において優先すべき先駆的な取組

科学技術によるイノベーション創出を力強く推進するための重点課題

○ 次世代を担う人材への投資

- ✓ 若手研究者や新分野開拓等の挑戦的な研究に向け競争的資金の重点的拡充
- ✓ 女性及び外国人研究者の活躍促進、博士課程在学者の支援、理数教育の充実

○ 研究開発の成果の社会還元を加速する取組

- ✓ 「社会還元加速プロジェクト」を中心に早急に実施

○ 環境・エネルギー等日本の科学技術力を活かした科学技術外交

- ✓ 開発途上国との科学技術協力の強化、世界の環境リーダーの育成
- ✓ 我が国がイニシアティブを発揮する革新的技術開発、国際的共同事業の充実

Ⅲ. 継続して重点的に推進すべき取組

第3期基本計画の着実な実行に向け、研究の高度化と研究システムの改革を推進するために必要となる、継続的な取組

- 人材育成と多様な研究の拠点として、基盤的資金を確実に措置しつつ、施設環境を含め、世界に開かれた国際競争力のある大学づくりの推進
- 多様な基礎研究等への競争的資金の拡充、人件費を支給できる研究者の対象の拡大
- 政策課題対応型研究開発は、戦略重点科学技術へ一層の重点化
- 世界トップレベルの研究拠点づくりの着実な推進、国際的な知的財産戦略の強化、国際標準化の推進

Ⅳ. 総合科学技術会議における取組の強化

- 資源配分方針に基づく科学技術政策推進のための取組の強化
 - ✓ 資源配分方針の適切な反映の観点から、関係府省ごとに施策の全体像をヒアリングするなど、政策誘導
 - ✓ 優先順位付けの理由等を国民の視点でより分かりやすく充実するとともに、より効果的・効率的な優先順位付けに改革
 - 今後検討を進め、概算要求時期までに具体的改革方策を提示
- 分野別推進戦略の着実な推進
 - ✓ 推進状況をフォローアップ、必要に応じて見直し
- 研究評価の更なる充実
 - ✓ 研究開発評価システムの改革を一層推進しつつ、事前評価等を実施

TOPページ 総合科学技術会議 - Netscape

ファイル 編集 表示 フォント フォーマット ツール ウィンドウ ヘルプ

http://www8.cao.go.jp/ctsc/

総合科学技術会議
Council for Science and Technology Policy

総合科学技術会議の概要
メンバー構成
総合科学技術会議(本会議)
専門調査会
審議・決定・意見具申等一覧
パブリックコメント
その他
科学技術政策ページの項目
科学技術基本計画
科学技術関係予算について
組織案内
パンフレット
5分でわかる最新の科学技術
科学技術政策

総合科学技術会議は、内閣総理大臣、科学技術政策担当大臣のリーダーシップの下、各省より一段高い立場から、総合的・基本的な科学技術政策の企画立案及び総合調整を行うことを目的とした「重要政策に関する会議」の一つです。

新着情報

- 〔平成19年6月7日〕 第68回総合科学技術会議開催日時を掲載(PDF方式)
- 〔平成19年6月5日〕 第44回生命倫理専門調査会開催案内を掲載(PDF方式)
- 〔平成19年6月1日〕 第67回総合科学技術会議議事要旨を掲載
- 〔平成19年6月1日〕 第6回基本政策推進専門調査会開催案内を掲載(PDF方式)
- 〔平成19年5月21日〕 第67回総合科学技術会議配付資料を掲載

最近の会議情報

〔平成19年5月18日〕
第67回総合科学技術会議

- 議題
- (1)イノベーション創出加速に向けた技術革新戦略ロードマップ

科学技術政策
原子力政策
内閣府トップ
関連機関
5分でわかる最新の科学技術
イノベーション25
科学技術政策
科学技術政策

http://www8.cao.go.jp/ctsc/index.html